

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月10日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	小・中学校環境整備事業費		部	教育部			係	施設係			
	[小・中学校環境整備事業]		課	教育総務課			課長名	中橋 健			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	1 子どもたちの笑顔があふれるまちづくり					第五次基本計画	59 ページ			
	施策	施策1 — 3 学校教育					複数施策	<input type="checkbox"/> あり			
	展開方向	1	<input type="checkbox"/> 生きる力を育む教育の推進					重要施策	<input checked="" type="checkbox"/> 該当		
		2	<input checked="" type="checkbox"/> 快適で充実した学校生活を支える教育環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	<input type="checkbox"/> 学校と家庭・地域との連携の推進					実施計画	<input type="checkbox"/> 該当		
	事業種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	10	項	2・3	目	1	事業番号	2	
開始年度	年度			<input checked="" type="checkbox"/> 不詳		行政報告書	479 488	ページ	新規・継続	継続	
実施の根拠 (法令・要綱等)											
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		快適で充実した学校生活を支える教育環境のために、老朽化した施設の工事等を行う。								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	市内小・中学校（15校）				快適で安全な学習環境を整える						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設維持改修工事 ・小学校体育館天井照明改修工事 ・第一小学校高圧受変電設備更新工事 ・第九小学校体育館屋根防水改修工事 ・第一、第十小学校トイレ改修工事 ・第二小学校音楽室空調設備更新工事 ・第一、第二中学校トイレ改修工事 ・第二中学校イングリッシュルーム空調設備更新工事 ・第四中学校体育館床改修工事 ・小学校校庭芝生維持管理委託 				快適で安全な学習環境となった。						
	効果指標			単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		年度目標値	事業		6		8		10		
		効果実績値	事業		6		8		10		
		目標値設定の考え方	計画的な改修工事、整備を実施し学習環境を確保する。								
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	481,048,535		85,624,500		176,825,325				
財源		一般財源	円	204,017,535		85,624,500		19,825,325			
		特定財源（国・都・他）	円	277,031,000		0		157,000,000			
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	4.0		5.0		5.0			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	33,520,000		41,250,000		40,800,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	514,568,535		126,874,500		217,625,325				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	学校施設の老朽化が進んでいるため、各学校や保護者、市民の方から施設改修の要望が多く寄せられている。										

5	市民協働の取組	取組手法：							
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）							
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点								
6	分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)							
		<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 低下	説明： 現状維持のための工事に加えて、トイレ洋式化・LED化の工事を行った。						
		(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)							
		<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 低下	説明： 施設が老朽化しているため、事業費、人件費の縮減は難しいと思われる。						
		(3)指標の達成状況の評価							
			(2) 費用対効果			成果ランク (評価)	成果 ランク の 説明 と 方向 性	A：効果指標・費用対効果が共に向上	
		(1)		向上	維持			低下	B：効果指標が向上・費用対効果が維持
		効果 指標	向上	A	B			D	C：効果指標が維持・費用対効果が向上
			維持	C	E			G	D：効果指標が向上・費用対効果が低下
			低下	F	H			I	E：効果指標・費用対効果が共に維持
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、Iのときは廃止を検討する。						F：効果指標が低下・費用対効果が向上			
						G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※			
						H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※			
						I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※			
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）									
<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地はない				説明： すでに事業費の削減に取り組んでおり、更なる見直しは難しい。長寿命化工事を実施予定の学校については、なるべくまとめて工事するように配慮し、効率的に取り組んでいく。					
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)									
<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 不可能				説明： 快適で充実した学校生活を支える教育環境のために、老朽化した施設の工事は必要不可欠である。					
7	課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記）							
		引き続き国や東京都の動向を注視し、市の財政や改修工事の平準化を図るべく計画していく。							
		(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと							
		市の財政負担を考慮し、必要最小限の工事を行った。							
		(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）							
引き続き国や東京都の動向を注視し、市の財政や改修工事の平準化を図るべく計画していく。									
8	方向性	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）							
		全ての学校施設を良好な環境に保つには、市としても多くの財源が必要となってくることから、改修工事計画を立案することも困難な状況である。今後は学校施設の個別施設計画に基づき、トータルコストの削減や予算の平準化を図りながら事業を実施していく必要がある。							

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	小・中学校運営費		部	教育部			係	施設係			
	[小・中学校施設維持管理事業]		課	教育総務課			課長名	中橋 健			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	1 子どもたちの笑顔があふれるまちづくり					第五次基本計画	59 ページ			
	施策	施策1 — 3 学校教育					複数施策	<input type="checkbox"/> あり			
	展開方向	1	<input type="checkbox"/> 生きる力を育む教育の推進					重要施策	<input checked="" type="checkbox"/> 該当		
		2	<input checked="" type="checkbox"/> 快適で充実した学校生活を支える教育環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	<input type="checkbox"/> 学校と家庭・地域との連携の推進					実施計画	<input type="checkbox"/> 該当		
	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	10	項	2・3	目	1	事業番号	1	
開始年度	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 不詳				行政報告書		478 487 ページ		新規・継続	継続	
実施の根拠 (法令・要綱等)											
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		学校施設の修繕、清掃、警備、保守点検、定期点検、検査等、児童・生徒が快適で充実した学校生活を送るための施設管理を行う。								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	市内全校				安全で清潔な学校施設にする。						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	①小・中学校施設の設備保守点検等の委託 1. 小荷物専用昇降機保守点検委託※ 2. 消防設備保守点検委託※ 3. 家用電気工作物保安業務委託※ 4. 非常通報装置保守点検委託※ 5. フール循環装置保守点検委託※ 6. 熱風炉保守点検委託※ 7. 建築設備等定期検査委託※ 8. ばい煙量調査委託 9. 第二、第三小学校エレベーター保守点検委託※ 10. 浴槽設備保守点検委託※ 11. 受水槽、高架水槽清掃及び点検委託※ 12. 簡易専用水道水質検査委託 13. 特定建築物定期調査※ ②小・中学校施設の清掃・施設警備等の委託 1. 施設清掃等及び便所清掃・尿石除去清掃委託※ 2. 施設管理委託 3. 機械警備委託※ 4. フール清掃委託※ 5. 害虫駆除委託 6. 窓ガラス雨どい清掃委託※ 7. 受水槽・高架水槽清掃及び点検委託※ 8. 緑化整備委託 包括施設管理業務委託案件は※と記載 包括委託の業務は公共施設等マネジメント課が担当 ③施設修繕				修繕対応依頼が344件あったが、全て対応した。						
	効果指標			単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		年度目標値	校	15		15		15			
			効果実績値	校	15		15		15		
			目標値設定の考え方	計画的な改修工事、整備を実施し学習環境を確保する。							
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	40,763,830		56,400,925		67,531,422				
財源		一般財源	円	40,763,830		56,400,925		67,531,422			
		特定財源（国・都・他）	円								
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	0.5		0.5		0.5			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	4,190,000		4,125,000		4,080,000			
	職員人件費（再任用）	円									
事業費+人件費		円	44,953,830		60,525,925		71,611,422				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	トイレ環境の整備をしてほしい。										

5	市民協働	市民協働の取組		取組手法：				
		<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
		令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点						
6	分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)						
		<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 低下		説明： 現状を維持させるための修繕や清掃、点検等を行った。				
		(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)						
		<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 低下		説明： 修繕件数が多く職員の負担となっていたため、学校への配当を増やし、学校から業者手配をする件数を増やした。それにより、施設係で対応する修繕件数が減少した。				
		(3)指標の達成状況の評価						
				(2) 費用対効果		成果ランク (評 価)		成果 ランク の 説 明 と 方 向 性
		(1) 効果 指標		向上	維持	低下	E	
			向上	A	B	D		
			維持	C	E	G		
			低下	F	H	I		
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、I のときは廃止を検討する。								
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）								
<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地はない		説明： 事業費の削減につながるかは不明だが、包括委託に「修繕の発注代行」を追加することにより、事務処理の効率化、学校の負担減につながる。						
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)								
<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 小さい <input type="checkbox"/> 不可能		説明： 快適で充実した学校生活を支える教育環境づくりにとって、老朽化した施設の修繕、清掃、点検等は不可欠である。						
7	課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記）						
		引き続き包括施設管理業務委託の受託者と密に連携をとる必要がある。						
		(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと						
		包括施設管理業務委託業者から作業報告書を提出してもらい、修繕対応等を行った。						
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）								
令和5年度から人事体制が変わり、職員の数が減ったため、今までと同じやり方では対応ができなくなる可能性がある。修繕については、学校の配分を増やす、包括委託業務を増やす等の対策が必要である。								
8	方向性	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）						
		包括施設管理業務委託の更新まで残り1年となったので、令和6年度からの包括委託に新たに盛り込めることがないか検討する。						